

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	医療法人光洋会	代表者	岩谷 友子	法人・事業所の特徴	様々な場面で利用者の自己決定を促し、趣味や家事活動にも個々の能力や希望に応じて参加していただいている。通所では、就労のある家族のニーズにあわせて利用を受け入れ本人だけでなく家族の生活にも配慮している。訪問では独居の利用者への服薬支援やアクシデント発生時の緊急の訪問等、通いや訪問、泊りサービスを柔軟に組み合わせている。コロナの感染拡大前は地域に向け社協主催のサロンで介護予防や認知症啓発の出張講演に出向いたり宗像市内外の小規模事業所と勉強会や交流会を開き職員の学びの場としている。中学生の職場体験の受け入れ次世代の福祉の担い手の育成にも力を入れている。
事業所名	城山庵	管理者	小方 奈美		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	4人	人	2人	人	人	2人	人	10人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する 取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	事業所自己評価の質問項目に対する判断基準を小規模多機能型居宅介護事業所連絡会に尋ね、判断の目安とする。	事業所自己評価の質問項目については小規模多機能型居宅介護事業所連絡会に判断基準を確認し、スタッフ評価を行うまえに周知したが迷う項目があった。	コロナの感染拡大に伴い、地域行事への参加や地域住民との交流もできない状況で改善計画の遂行は難しかったと思われる。	事業所評価の質問項目に対する判断基準を職員に周知し、判断基準の統一を図る。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者への尊敬の念を抱き、丁寧語で話をする。</li> <li>日ごろの環境整備に加え環境係からも気づかない所の清掃を定例会で報告する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>場面や利用者の特性を考慮し話し方にも配慮した。</li> <li>年2回大掃除を実施した。</li> <li>環境係より定例会は感染予防の為に中止し、朝礼で環境整備について気づきを申し送った。</li> </ul>	コロナの感染対策のため除菌など衛生面では特に留意した。	コロナ禍において利用者と共に感染予防の取り組みを続ける。
C. 事業所と地域のかかわり	ボランティアとして地域の方を事業所へお招きする機会を増やす。	昨年3月以降はコロナの感染拡大によりボランティアの訪問をお断りし交流はできていない。	コロナの流行の為に、イベントが中止され、これを「参加していない」と判断するかどうか迷った。	コロナ禍においても地域との新たなつながりの方法を確立する。

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	事業所のある地域や宗像市内で開催される行事やイベントへ出かけていく。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のイベントも開催中止になったり外出も自粛した。</li> <li>・花見ドライブなど利用者、職員以外の方との接触がない方法で外出の機会を設けた。</li> </ul>	コロナ禍でもイベント中止や外出自粛を「参加していない」と判断するのか迷った。	コロナ禍での地域に出向く方法を考え実行していく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	運営推進会議の中で事例検討をおこない、地域住民としての意見を取り入れていく。	今年度はコロナの感染拡大により運営推進会議は書面や時短での開催としたためできていない。	推進会議が時短での開催となった時に事例報告といった形で最近の小規模の利用者、家族の特徴を説明した。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所の取り組みや運営状況が書面でも理解しやすいよう資料の工夫をおこなう。</li> <li>・「関わりシート①」の質問項目について委員の方も判断しやすい基準を考える。</li> </ul>
F. 事業所の防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き避難訓練を新人職員や夜勤対応の職員を中心におこない防災に対する知識を深めていく。</li> <li>・地域の防災訓練への参加を続ける</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年2回の避難訓練は新人職員を中心に避難誘導や消火器訓練をおこなった。</li> <li>・地域の防災訓練は中止になり参加できなかった</li> </ul>	新人職員を中心に最少人数で昼間と夜間を想定した避難訓練をおこなった。	地域の防災訓練に参加する

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年11月25日(18:00~18:10)

1. 初期支援(はじめのかかわり)

メンバー 小方 幸田 荒牧 白木 明比 井上 白山 金村  
高木 横道 續田 立石 神谷 吉田 東 秋満  
金田 石松 山田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	12人	6人	人	19人

前回の改善計画	家族の不安やニーズを把握するため利用開始後の連絡帳の記入内容を決めて対応する職員差をなくす。
前回の改善計画に対する取組み結果	新規利用者の家族には活動の様子や本人の言葉など連絡帳に記入する内容を決めて記載しているが職員の記録に対する格差がある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	17	2			19
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	3	15	1		19
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	11	8			19
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	2	17			19

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
家族に対してはケアマネ、利用者にはその日の担当職員が対応し不安の軽減に努めている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
利用開始前後の情報共有についてはコロナの感染予防のため定例の職員会議が開催できず、文章での回覧になっているためケアについての検討や打ち合わせが十分できなかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
コロナ禍の中、新規利用者のケアの統一が図れるようミーティングに変わる方法を確立する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年11月25日(18:10~18:20)

2. 「～したい」の実現(自己実現の尊重)

メンバー 小方 幸田 荒牧 白木 明比 井上 白山 金村  
高木 横道 續田 立石 神谷 吉田 東 秋満  
金田 石松 山田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	5人	12人	1人	19人

前回の改善計画
毎月「～したい」を把握する利用者を決めて、職員間で定例会や申し送りを通して情報交換をおこなっていく。
前回の改善計画に対する取組み結果
定例会開催が自粛となり意見交換ができていなかった。書面での情報交換を行ったが十分ではなかった。言葉で伝えることができる利用者は職員との会話の中から得た情報を個別の記録に記載し「～したい」の参考にした。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	1	9	8	1	19
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1	8	9	1	19
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	1	2	16		19
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	5	8	6		19

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	利用者のケアプランの目標はいつも使う帳票につけていつでも見れるようにしている。その時把握できた「～したい」は個別の記録に残しケアの参考になっている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	言葉で意思表示ができない利用者の「～したい」を把握することが難しい。今年コロナの感染予防のため定例会でのケースカンファができず文章での意見交換となったためケアの検討が十分とは言えない。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	日々のかかわりの中で選択の機会を設けて「～したい」を引き出す工夫をする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年11月25日(18:20~18:30)

3. 日常生活の支援

メンバー 小方 幸田 荒牧 白木 明比 井上 白山 金村  
高木 横道 續田 立石 神谷 吉田 東 秋満  
金田 石松 山田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	10人	4人	3人	19人

前回の改善計画	担当職員は本人の「～したい」を把握し、誕生月を目標にアクティビティ活動を計画、実行する。
前回の改善計画に対する取組み結果	コロナの感染拡大のため外出の自粛もあり、アクティビティ活動はできなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	1	2	15	1	19
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	8	11			19
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1	14	4		19
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	6	13			19
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	3	16			19

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>食事、排泄、入浴など利用者の個々に合わせた介護は実施できている。          体調変化や皮膚の状態など看護師を中心に報告や確認を行い、申し送りや情報共有し家族への報告をおこなっている。          イベントや外出は中止となったが例年とは異なる形で利用者の希望を実現した。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>「以前の暮らし」のとらえ方が難しい。          認知症の進行により以前の暮らしを本人から聞き出せず、家族も介護にかかわる前の暮らしを把握していないため以前の暮らしの把握がむずかしい。          利用者の声にならない声の把握は担当職員の意識不足もありできていなかったり、定例会は書面や時間短縮により十分なミーティングができていない。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>ミーティングによるケアの統一が難しい中、自己判断せずケアの統一をはかる。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 2 年 11 月 25 日 (18 : 30 ~ 18 : 40 )

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 小方 幸田 荒牧 白木 明比 井上 白山 金村  
高木 横道 續田 立石 神谷 吉田 東 秋満  
金田 石松 山田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1 人	10 人	8 人	人	19 人

前回の改善計画	地域の繋がりが途切れないよう担当者会議において家族から情報をいただき利用者のケアに活かしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	担当者会議は感染予防のため自粛したが、ケアマネが自宅を訪問し、知りえた情報は日々の申し送りで周知した。 地域との関りはコロナ禍の中避けざるを得なかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1	16	2		19
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?		13	6		19
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	1	5	13		19
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	1	3	10	5	19

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
利用者、家族共にこれまでの生活スタイルを継続することを目標としている。 独居の利用者の自宅の様子は訪問サービスだけでなく、送迎時にも服薬やエアコン操作状況など積極的に把握し、即座に対応した。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
日中独居も含め家族も利用者がどのように過ごしているか把握できておらず、本人から聞いても記憶が曖昧で情報が得にくい。 地域資源は家族と同居している場合サービスと家族の支援で充足し、地域資源の活用までには至っていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
施設がかかわっていない時本人が行きそうな場所や方向を来所時聞き出しリスクの予測と対策を考えておく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 2 年 11 月 25 日 (18 : 40～18 : 50)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 小方 幸田 荒牧 白木 明比 井上 白山 金村  
高木 横道 續田 立石 神谷 吉田 東 秋満  
金田 石松 山田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3 人	15 人	1 人	人	19 人

前回の改善計画	朝の申し送りの記録を充実させ、その場にはいない職員も日々変化する対応を把握できるようにする。看護記録では状態が改善された時までの記録を確実にこなす。
前回の改善計画に対する取組み結果	朝の申し送りでその場を離れる職員は別の職員に記録を引き継ぎ伝達事項が漏れないようにしている。看護記録は発生と対応、経過と終了まで残すようにしている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1	12	6		19
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	11	8			19
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	3	15	1		19
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	2	17			19

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
通所では家族の生活に配慮したサービスを提供し送迎も朝食、夕食までの利用など柔軟に対応している。宿泊が受けられない時は通いの追加や利用の時間を変更したり、訪問で対応するなどし、利用者の望まない泊りを減らしている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
サービスを提供することで家族も地域資源の必要性を感じておらず、地域資源の利用はできていない。利用者の変化についてはコロナ禍では十分なミーティングができず書面での情報収集が主となっている。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
コロナ禍のなかミーティングによる意見交換に変わる方法を確立する。服薬管理やエアコン管理、食材管理ができていない一人暮らしの利用者が増えているので日々の訪問の時の気づきを共有しケアに活かす。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年11月25日(18:50~19:00)

6. 連携・協働

メンバー 小方 幸田 荒牧 白木 明比 井上 白山 金村  
高木 横道 續田 立石 神谷 吉田 東 秋満  
金田 石松 山田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	1人	3人	15人	19人

前回の改善計画	いろいろなボランティアの参加を依頼し、多くの人々が城山庵に来る機会を作る。
前回の改善計画に対する取組み結果	コロナの感染拡大のためボランティアの訪問は控えている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	2	8	9		19
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?		2	5	12	19
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?			8	11	19
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?			8	11	19

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
担当者会議はコロナ禍の中、必要に応じて開催した。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
会議や地域のイベントも中止され、参加できていない。 施設内の立ち入りも中止しているためボランティア等地域との関りができていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
コロナ禍においても地域との関りが持てる方法を模索する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平令和2年11月25日(19:00~19:10)

7. 運営

メンバー 小方 幸田 荒牧 白木 明比 井上 白山 金村  
高木 横道 續田 立石 神谷 吉田 東 秋満  
金田 石松 山田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	16人	3人	人	人	19人

前回の改善計画	地域住民の苦情の再発防止に向けて引き続き送迎時の合間で公用車のアイドリングはなくす。車の乗降や運行日誌の記入時はエンジンを切る。
前回の改善計画に対する取組み結果	朝の申し送りで職員には注意喚起を図っている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	2	13	4		19
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	8	10	1		19
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	5	9	4	1	19
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	1	6	7	5	19

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
毎年家族アンケートを通して希望や苦情について意見をいただき運営にいかしている。地域の文化祭に他の施設と一緒に作品展示をおこなった。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
コロナ発生以降は地域活動も中止となり地域と協働の取り組みはできていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
コロナ禍の中でもできる地域との関わりを考える。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年11月25日(19:10~19:20)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 小方 幸田 荒牧 白木 明比 井上 白山 金村  
高木 横道 續田 立石 神谷 吉田 東 秋満  
金田 石松 山田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	16人	1人	人	19人

前回の改善計画	アットハットの集計を定例会で公表し職員にも意見を求める。
前回の改善計画に対する取組み結果	アットハットの集計は定例会で公表するようにしたが担当職員の意識不足で、できていないことがあった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加3して いますか	3	7	8	1	19
②	資格取得やスキルアップのための研修に 参加できていますか	2	4	10	3	19
③	地域連絡会に参加していますか	1	2	6	10	19
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	3	14	1	1	19

20

20 できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
アットハットの集計は定例会での意見交換はできなかったが、毎月取りまとめて対策まで記載したものを回覧し職員で共有し再発防止に努めた。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
アットハットに上がった同じようなミスが続いている。 施設内の勉強会はコロナ感染予防のため中止となり、文章での回覧となるのが主のためグループワークができず、職員個人に任せる形になって意見交換を持つことができなかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
e ランニングなど、コロナ禍での研修の新たなあり方に取り組む。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年11月25日(19:20~19:30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 小方 幸田 荒牧 白木 明比 井上 白山 金村  
高木 横道 續田 立石 神谷 吉田 東 秋満  
金田 石松 山田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	10人	8人	人	19人

前回の改善計画	職員個人のメモの管理方法についてルールを作る。 利用者に対して尊敬の念を抱き、丁寧語で話をする。
前回の改善計画に対する取組み結果	職員のメモの廃棄は事業所で集めておこなうことにした。 言葉遣いは職員で個人差がある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	17	2			19
②	虐待は行われていない	18	1			19
③	プライバシーが守られている	2	17			19
④	必要な方に成年後見制度を活用している	5	4	5	5	19
⑤	適正な個人情報の管理ができている	5	13	1		19

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
身体拘束や虐待は行われていない。併設のGHと共に定期的に身体拘束やそれに至るような事案はないか振り返っている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
成年後見制度は必要と思われる家族には提案しているが、希望されない家族がほとんどだった。利用者との距離が近くなりすぎてしまっているため、利用者に対して丁寧な話し方が徹底できていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
朝の申し送りで敬語使用の注意喚起を図る。 介護もサービス業という意識を持ち丁寧語で話す。	